

環境省のSDGsの取組

○ SDGsの考え方を具現化した第五次全国環境基本計画

(平成30年4月閣議決定)

⇒ 地域循環共生圏の構築

気候変動

再エネの導入拡大による
地域経済循環の創出

資源循環

資源効率性の向上による
ビジネス育成

自然共生

国立公園の魅力向上による
地域活性化

【分野横断】

- (企業・自治体等) ステークホルダーズ・ミーティングの開催
- (企業) SDGs活用ガイド(中小企業向け)の作成
- (企業) 新たな環境需要に対応した環境金融の拡大
- (企業) 環境報告ガイドラインの改定
- (企業) 脱炭素経営による企業価値向上促進プログラムの開始
- (国際) G7が協調したSDGsの率先行動
- (国際) 環境インフラの海外展開支援 等



環境・経済・社会的課題の同時解決に重点。各主体の取組を後押し

施策例：SDGsステークホルダーズ・ミーティング

目的

- (1) 各界から先行する取組を共有し、更なる取組に弾みをつける場、多様なセクターの協働を促進していく場の提供。
- (2) G7や国連等における国際的な議論を紹介し、国際的な動向の国内への導入及び日本の取組の海外展開を検討。
- (3) 会議の内容を環境省ウェブサイトにて紹介し、また国際的な場で発信、他の国／主体の取組を後押し。



概要

- ステークホルダーズ・ミーティングを2016年度に3回東京で開催し、**2017年度も3回実施**。主にビジネス、メディア、市民社会等から、のべ**1,000名以上**が参加。
- 国際機関や政府の最新動向、SDGs指標策定プロセス等の共有
- 民間企業及び自治体等から、他のゴールにも関連する「持続可能な消費と生産」と企業による本業を通じたSDGs達成への貢献に焦点をあて、先行事例を紹介。
- ミーティング後、参加者のネットワーキング、意見交換のための懇親会を開催。

施策例：持続可能な開発目標（SDGs）活用ガイド

- SDGsを企業活動に取り入れるためのガイドを作成し、平成30年6月に公表
- 「SDGsって何？ 私の会社と関係あるの？」、「SDGsって気になるけど、具体的に何をすればいいの？ 大変じゃないの？」といった中小事業者の声に応えるべく、SDGsを企業活動に取り入れるための具体的なステップ、中小企業での取組事例等を紹介するガイドを作成。

<内容>

1. 企業を取り巻く社会の変化
2. 企業の持続可能性に関わる動き
3. 企業にとってのSDGSとは
4. 取組の進め方

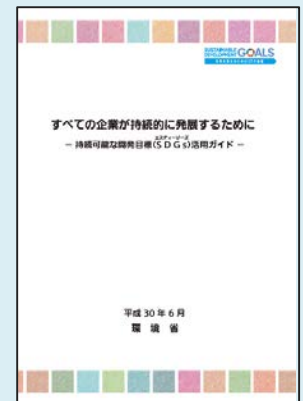
手順1：話し合いと考え方の共有

手順2：自社の活動内容の棚卸を行い、とSDGSと紐付けて説明できるか考える

手順3：何に取り組むか検討し、取組の目的、内容、ゴール、担当部署を決める

手順4：取組を実施し、その結果を評価する

手順5：一連の取組スキームを作り、外部への発信にも取り組んでみる



施策例：ESG金融懇談会の開催

- 環境大臣のイニシアティブの下、**金融の主要プレーヤーが一堂に会する場を設け、国民の資金（年金資産、預金）を「気候変動問題と経済・社会的課題との同時解決」、「新たな成長」へとつなげる**未来に向けた強い意思を共有**いただくとともに、それぞれが**今後果たすべき役割について、闊達な議論**をいただく場を開催。**
- 懇談会の議論を取りまとめ、**7月頃に提言を公表予定**。

委員等

<直接金融>

- ・稲垣 精二 第一生命保険株式会社 代表取締役社長
- ・岩崎 俊博 一般社団法人投資信託協会 会長
- ・大場 昭義 一般社団法人日本投資顧問業協会 会長
- ・鈴木 茂晴 日本証券業協会 会長
- ・濱口 大輔 企業年金連合会 運用執行理事 チーフ インベストメント オフィサー
- ・水野 弘道 年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF) 理事兼最高投資責任者、国連責任投資原則(PRI) ボードメンバー
- ・宮原 幸一郎 株式会社東京証券取引所 代表取締役社長

<間接金融>

- ・黒本 淳之介 一般社団法人第二地方銀行協会 前会長、株式会社栃木銀行 取締役頭取
- ・佐久間 英利 一般社団法人全国地方銀行協会 前会長、株式会社千葉銀行 取締役頭取
- ・佐藤 浩二 一般社団法人全国信用金庫協会 会長、多摩信用金庫 会長
- ・成田 耕二 株式会社日本政策投資銀行 取締役常務執行役員
- ・藤原 弘治 一般社団法人全国銀行協会 会長、株式会社みずほ銀行 取締役頭取
- ・牧野 光朗 飯田市 市長

<有識者>

- ・翁 百合 株式会社日本総合研究所 理事長
- ・北川 哲雄 青山学院大学大学院国際マネジメント研究科 教授
- ・末吉 竹二郎 国連環境計画・金融イニシアティブ(UNEP FI) 特別顧問
- ・多胡 秀人 一般社団法人地域の魅力研究所 代表理事
- ・玉木 林太郎 公益財団法人国際金融情報センター 理事長(OECD前事務次長)
- ・水口 剛 高崎経済大学副学長、同大学経済学部 教授
- ・森 俊彦 特定非営利活動法人 日本動産鑑定 会長

<オブザーバー>

金融庁、経済産業省、日本銀行

スケジュール

- 第1回～第3回：直接金融を中心に議論
- 第4回～第6回：間接金融を中心に議論
- 【第1回】1月10日(水) 10:00～12:00
議題：金融市場において持続可能性を巡る課題
(ESG課題)を考慮することがなぜ重要なのか
- 【第2回】2月9日(金) 15:00～17:00
議題：企業との建設的な対話に向けて何が求められているのか
- 【第3回】3月23日(金) 15:00～17:15
議題：直接金融が環境・社会の持続可能性にインパクトを与えるためになすべきことは何か
- 【第4回】4月20日(金) 15:00～17:00
議題：ESGの視点から考える新たな地域金融モデルの方向性～基本的なコンセプトや課題の整理・確認等～
- 【第5回】5月30日(水) 15:00～17:00
議題：融資先企業との対話や事業性評価等の実効性向上に向けたESGのポテンシャル(持続可能なビジネスモデルに資する実践面の工夫・改善等)
- 【第6回】6月15日(金) 15:00～17:00
議題：SDGsの具現化、持続可能な社会の構築に向けて間接金融の果たす役割
- 【第7回】6月29日(金) 15:00～17:00
議題：第1回会合以降の議論の全体整理等(提言(案)等について議論)

